

賃貸住宅の利用価値と経済価値 の持続への提案

現在、住宅を取り巻く問題は、人口減少と住宅ストック増加を背景に、居住者の高齢化、空き家の増加、建物の老朽化、耐震改修工事の遅滞、地球環境負荷の低減、等々多岐にわたっている。

住宅総数約 5,700 万戸のうちの約 1 / 3 を賃貸住宅が占めている。しかし、事業推進上最も重要なその空室率は 18.8% と全住宅空室率の約 1.4 倍となっており、今後も一般の住宅よりも早いテンポでの増加が予測されている。

これらの危機を乗り越える為に何をすべきか。本シンポジウムでは、今までほとんど情報開示されてこなかったコスト情報を含む事業的側面から、現在行われている最新事例を紹介し、賃貸住宅ニーズに対応した実現可能性の高い賃貸住宅の価値再生につ

いて考える。

また、今後の賃貸住宅のニーズはどのように変わっていくのか。そのニーズに合わせてゆくには、どのように改造して行くのか。そして住宅を永く使う方法とは。研究者・実務家を交えて賃貸住宅ストック活用のための価値再生の課題と方向性について、活発な討議を行う。

賃貸住宅は、改造の意思決定もしやすく、居住者も自由に住宅を選択できるというメリットもあり、将来に向けた、新しい住まい方への可能性も期待できる。

このシンポジウムによって、生活（賃貸居住）レベルの向上や、多世代居住の実現により地域コミュニティの活性化や再生につながる事も期待したい。

2011 年 3 月 1 日（火） 13:00 ～ 16:30（受付 12:30）

すまい・るホール（水道橋） ※裏面参照

趣旨説明

講演「賃貸住宅マーケット・ニーズの状況と将来展望」

竹内 一雅 株式会社ニッセイ基礎研究所

「民間賃貸住宅の再生の課題とその解決事例」ー最近の事例からー

森尻 謙一 株式会社リビタ コンサルティング事業本部

上林 一英 財団法人住宅総合研究財団 研究推進部

「民間賃貸住宅再生における事業性の課題」

田村 誠邦 株式会社アークブレイン

「公共賃貸住宅再生の課題と再生技術」ー公共賃貸住宅ストックと改修技術ー

門脇 耕三 首都大学東京 都市環境学部（建築構法）

「公共賃貸住宅再生の課題と再生技術」ー WPC 住戸堺壁への開口設置技術ー

堀 富博 シグマ建築構造研究所・財団法人住宅総合研究財団（講演順）

パネルディスカッション

司会 小泉 雅生 小泉アトリエ・首都大学東京 都市環境学部（建築計画）

タイトルは仮題です。予告なく変更する場合がございます

申込み〆切 2月25日（金）必着

定員 100名（先着順）

資料代 500円（当日徴収）

ホームページ・FAXでお申込みください

H P: <http://www.jusoken.or.jp/koukai.htm>

FAX: 03-3484-5794

※申込用紙裏面



このシンポジウムはCPD認定プログラム(2単位)です

「すまい・るホール」のご案内

所在地：東京都文京区後楽 1-4-10 住宅金融支援機構本店 1階（旧住宅金融公庫）



ホームページ

<http://www.jusoken.or.jp/koukai.htm>

FAX

03-3484-5794

お問い合わせ

(財)住宅総合研究財団 賃貸住宅ストック活用シンポジウム事務局 宛
〒156-0055 東京都世田谷区船橋 4-29-8 TEL 03-3484-5381

3月1日（火）フォーラムに参加します
FAX参加申込書

(ふりがな)

氏名 _____ / 所属 _____

(自宅・所属) ○をつけてください

住所 〒 _____

電話 _____ / FAX _____

※お申込み時の個人情報は、本フォーラムのご案内以外には利用いたしません。

(財)住宅総合研究財団